

活動報告 2

H27.11.14

参加者 16名



本のソムリエから学ぶ 絵本の世界

アンケートより

- 専門の方の説明が聞けて、とてもよかったです。
- 本でも色々な遊びができることがわかり、楽しかったです。
- 読み聞かせで、癒されることを体験できました！



▲ペアになったの読み聞かせの実習。読み手も聴き手もわくわく、楽しんで。

今回の講座は、本の専門知識を持った高松市中央図書館の“本のソムリエ”（柏敦子さん、丸川哲子さん）を講師に迎え、子どもと本をつなぐ技術を教えていただきました。実際にたくさんの絵本を読み聞かせしていただき、受講者は童心に返って、すっかり絵本の素晴らしい世界に惹きこまれていました。

心がほんわかする絵本の楽しみ。
次は援助活動で、子どもたちと共有できるといいですね！



読み聞かせのポイント



●絵をしっかりと見せてあげること

読み手が文を読むことに集中して、本を覗き込んでしまい、顔で絵を隠していることがあります。大きな絵本は、自分の肩を台替わりにして、しっかり絵を見せながら、お話ししてあげましょう。

●作り手にも想いを馳せること

読む前に絵本のタイトルと、書いた人・絵を描いた人の名前も読んであげてください。読んだ後は、本の表紙と裏も見せてあげてください。

言葉がない絵本をあかちゃんに読み聞かせする時は、自分の言葉で遊びながらお話ししてあげていいと思います。「こっちからなにかでてるね、あかいね、なんだろうね？」という風に。難しく考えず、いろいろ語りかけてあげてください。

司書 柏 敦子さん



科学絵本や自然絵本では、載っている絵や写真をフル活用して、お話するようにしてあげてください。説明文に対して、「これがそうだよ～」と指を指して説明してあげると一層わかりやすくなりますよ。

司書 丸川 哲子さん



柏さんの好きな本

←谷川俊太郎さんの本はリズム感があり、楽しいですよ！
詩をクイズのようにして、遊ぶこともできます。



選書のポイント



●困ったら、季節にあったものを選ぶ！

どんな本を読んであげたらいいのかわいたら、季節にあったものを選ぶのが一番簡単です。読み聞かせの情報誌などにも季節ものの特集が載っているので、それらを参考に選んでみるのもいいかもしれませんね。

丸川さんの好きな本

←とよたかずひこさんの本は内容があたたかく、読んでいる方もほっこりしますよ！

